

水のありがたさ

僕は最初、「飲食店の水は、無料があたり前でしょ！」と書いていました。しかし、ある日、「じゃあ、外国ではどうしているのだろう」「日本人はどれほど水を当たり前と想っているのだろう」と思い調べることにしました。

調べたところ、海外の飲食店では水の無料提供はほとんどありません。そのため、普段あまり水を意識していない日本人は水の無料提供が「当たり前」でないことがわかってないという人が多いみたいです。海外の水が日本のように無料提供されない理由は、下水処理の設備の差があるようです。日本は水道の工事が行き渡っていて、普段の生活では水が循環されているシステムが見えないため「当たり前前」と思っている人が多いからです。しかし、それでは水が大切だと気がつくのは、

天理市立福住中学校 二年

小池 宗史

水が途絶えてしまったときです。それでは遅いと僕は感じます。

そこで僕は、水のありがたさをわかってもらうため「飲食店などで有料にすればいいの」と思いました。そこでまず、なぜ、無料になったのかを調べてみました。調べてみると、「水道管などのインフラ整備が充実している」や「全国各地で適度に雨が降る」という日本の技術と環境面が大きく関わっていることを知りました。水道設備が整っているため、水道水を飲んでも体調を崩すことが少なく、水を安く提供できることが水の無料提供の文化と関係しているそうです。ここまで調べて水の無料提供には納得したのですが、「もししたら、自分は今、ちゃんと大切さをわかってるのかな」と思い、思い返してみることにしました。

とあるところでは、「毎日八百人もの子供が安全な水を確保できなかつたり、不衛生な環境でなくなっている」と聞いたことがありません。それを聞いて、まず、最初に思い出したのは、お母さんが「水道代が上がってる」というのが、頭に浮かびました。環境が悪い子どもたちにとつたらきれいで、貴重な、学校に行かずに取ってこないとならないのに自分は何んが無駄遣いをしているのだろうかと思ひ、節水に取り組みようになりました。

この経験から、水の大切さ、今自分にできることを考え、せめて気持ちを行動に表したいと思つてます。ぜひ皆さんも取り組んで行きましょう！